

2024年7月25日

日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)

一般財団法人エンジニアリング協会
「エンジニアリング功労者賞」受賞について

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社(代表取締役社長:鈴木隆、本社:東京都品川区)は、広島ガス株式会社(代表取締役社長 社長執行役員:中川智彦、本社:広島市南区)と共同で、一般財団法人エンジニアリング協会より2024年度「エンジニアリング功労者賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

「エンジニアリング功労者賞」はエンジニアリング産業に関与し、その活動を通じエンジニアリング産業の発展に著しく貢献したグループ(チーム)または個人が表彰されるものです。

今回、当社と広島ガス株式会社で構成する「冷熱供給設備プロジェクトチーム」が「エンジニアリング功労者賞」を受賞いたしました。

受賞案件の概要は、以下の通りです。

【第44回】「エンジニアリング功労者賞」グループ表彰(環境貢献)

受賞者:冷熱供給設備プロジェクトチーム

概要: 広島ガス(株)備後工場と豆腐を製造する(株)やまみが隣接していたことから今回熱融通のための冷熱供給設備を建設し、企業間では事例が少ない、低い温度帯の熱融通により大幅なエネルギー削減を達成しました。

本設備では、都市ガス製造の原料であるLNG(液化天然ガス、マイナス150℃)を気化する際に一般的な温水ではなく、冷熱を回収するために特別に設計したブライン[※]式LNG気化器を設置し、循環させるブラインの凍結と豆腐製造という食への安全性を配慮した結果、2種類のブラインを組み合わせたブライン熱交換器を設置した設備であることが特徴です。

企業間で高温帯の熱供給は多くみられますが、低い温度帯の熱をお互いに融通し、両社にて省エネが達成されている事例は稀です。(LNGの冷熱利用例として酸素の液化・ドライアイスなどの製造や冷凍倉庫への供給がありますが、一方への熱供給となっています。)さらに熱融通のデータを蓄積し運転制御を変更するなど、さらなる省エネルギー化を図っていきます。

今後、他地域での展開やビジネス領域拡大などを通して、設備の省エネルギー化や、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ ブラインとは、食品加工や冷凍技術で冷却剤として利用される水に塩を溶かした溶液のこと。低温を維持できる性質を持つ一方で、適切に管理されない場合、凍結する可能性があります。また、ブラインが食品に直接触れる場合、塩分の過剰摂取や食品の風味を損なう可能性があり、不適切に保管されたブラインは微生物汚染のリスクがあるため、食品安全を脅かすこともあります。



ブライン式LNG気化器まわり



ブライン熱交換器まわり全景



【受賞代表者】 広島ガス㈱、日鉄 P&E

【お問い合わせ先】

総務部 総務室：03-6865-6000

以上